

ながくて幸せのモノサシづくり

平成25年8月号広報で、新しいまちのかたちづくりのための「市民目線で幸せを測る長久手独自のモノサシづくり」について特集しました。今回は、この取組の経過や今後の予定について報告します。

☎ 経営管理課 ☎56-0600 記事ID 5080

HPを見る

「ながくて幸せのモノサシづくり」とは？」

長久手が目指すまちづくりの方向性：一人ひとりの幸福度が高い「日本一の福祉のまち」

①市民生活や地域社会の状況を把握できているか？

②まちづくりは目指す方向に向かって上手く進んでいるか？

理想の長久手としていくために、このような点をだれもが確認できる「道具」が必要です。そのために、市民目線による「ながくて幸せのモノサシづくり」に取り組んでいます。



「ながくて市民の声集め in 市民まつり」の来場者から「幸せ」に関するたくさんの生の声を集めました

「ながくて幸せのモノサシづくり」の取組状況は？」

昨年8月、関西大学の草郷孝好教授を講師に招き、キックオフイベントとして「地域づくり講演会」を開催し、「幸せのモノサシづくり」への取組を始めました。

それに続き、本格的なモノサシづくりに先駆けて「今のながくての生活と幸せを測ろう!」をテーマに、有志の市民と若手の市職員それぞれ約10人が参加し、「ながくて幸せ実感調査隊」を結成しました。

調査隊では、市民へのインタビューや7回のミーティングを重ね、現在実施している「ながくて幸せ実感調査」のアンケート票づくりを行いました。(9ページ参照)

アンケートの後は、調査結果の集計や分析を行い、みなさんにお知らせしつつ、みなさんと地域の未来を語り合い、みなさんと描く未来の姿に向かっていくかを確認していくためのモノサシづくりに取り組んでいきます。



ミーティングの様子
アンケート票づくりで「こんなこと質問したい!」が提案されました

ながくて幸せのモノサシづくり

第1 ステップ

平成25年度
「今のながくての
生活と幸せを測ろう!」

★ながくて幸せ実感調査

- 市民の生活の現状と課題を調べる
- アンケート調査票の作成
→5,000人対象のアンケート調査
- 市民の声集め
→市民インタビュー

第2 ステップ

平成26年度～
「幸せのモノサシを
つくりあげよう!」

★幸せのモノサシづくり

- 調査結果から見える今のながくての姿
→発表会
- (仮称)ながくて未来の語り合い
- 幸せのモノサシづくり
→市職員、市民へのヒアリング など

市民と市職員による「ながくて幸せ実感調査隊」で活動中

～幸福度の高いまちを目指して～

「ながくて幸せ実感アンケート」にご協力ください

～有志の市民と若手の市職員とで考えたアンケートです！～

市では、長久手に住むみなさんの幸せの実感について調査するため、住民基本台帳から無作為で抽出した18歳以上の市民5,000人を対象に「ながくて幸せ実感アンケート～みんなでつくりたい幸せのモノサシ～」を実施しています。みなさんの生活の状況、さまざまな生活場面における行動や実感、地域との関わりを中心とした内容で、有志の市民と若手の市職員と一緒に考えてアンケート票を作成しました。アンケート票が届いた方は、回答を記入の上、同封の返信用封筒で3月24日(月)までに投函をお願いします。

ながくて幸せ実感調査隊の活動 ～ながくて幸せ実感アンケート票作成までのストーリー～

第1回	平成25年 10月28日	幸せのモノサシづくりや幸せ実感アンケートのねらいを知り、将来の長久手の望ましい姿について話し合いました。
第2回	11月25日	幸せ実感アンケートで質問したいこと、確認したいことについてグループワークで検討し、発表しました。
第3回	12月9日	
第4回	12月20日	第2、3回で出し合った「こんなこと質問したい」をメンバーが投票し、アンケート項目を選定しました。
第5回	平成26年 1月26日	第4回の選定をもとに作成したアンケート票に対して、改めてメンバー各自で意見を出し合い、質問内容の修正や削除、追加などの検討を行い、アンケート票を修正しました。
第6回	2月6日	
第7回	2月12日	修正内容を確認し、メンバーから市長にこれまでの活動報告をして、調査隊で作成したアンケート票を手渡しました。
市民の 声集め	平成25年 11月10日	「ながくて市民の声集め in 市民まつり」と題し、来場者に自身の幸福度と長久手の幸福度、それぞれの理由を尋ねました。

幸せ実感アンケートの結果については、取りまとめ次第報告します。

ながくて幸せのモノサシと幸せ実感アンケートについて、詳しくは市HPでもお知らせしています。

「幸せリーグ」の状況をお知らせします

全国から55の自治体が参加する「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合」＝通称「幸せリーグ」。平成25年6月5日の設立を経て立ち上がった実務者会議の状況をお知らせします。

第1回実務者会議 平成25年7月24日 (荒川区役所)

【幸福度指標に関する事例報告】

荒川区民総幸福度(GAH)、北海道斜里町「幸福度アンケート調査」、三重県松阪市「市民幸せ調査」、京都府京丹後市「幸福に関する取り組み」

【グループディスカッション】

地域の幸福や独自の取組について意見交換しました。この段階では荒川区が幸福度指標案を提示しているものの、指標の活用を確立している自治体はありませんでした。

第2回実務者会議 平成26年1月9日 (荒川区役所)

【グループディスカッション】

「幸福度(調査)」、「幸福度(活用)」、「定住人口増加」、「町おこし」のテーマに分かれ、今後の活動に向けて議論しました。長久手市は幸福度(調査)に参加しましたが、そのグループでは共通の幸福度調査票を作成してはどうか、類似調査の自治体間比較を行ってはどうかなど、様々な提案がありました。今後は、これらの提案を成果にしていけるための検討を行います。